

放射線療法の提供体制構築に資する研究

小線源治療の提供体制構築に資する研究

研究分担者：生島仁史

研究協力者：JASTRO小線源治療部会・幹事

1

結果 (2022/8/30時点)

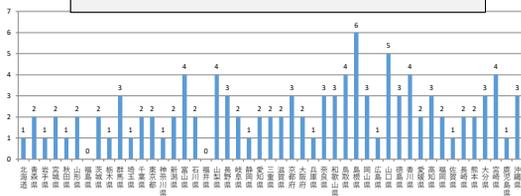
- ▶ アンケート回答率 (施設)
158/177施設 (89%)
- ▶ アンケート回答率 (都道府県)
47/47都道府県 (100%)

3

小線源治療担当放射線治療医数

都道府県ごとの平均的な小線源治療担当放射線治療医数/100万人口

- ▶ 都道府県別小線源治療担当放射線治療医数
- ✓ 平均：2.3人/100万人口
- ✓ 中央値：2.1人/100万人口



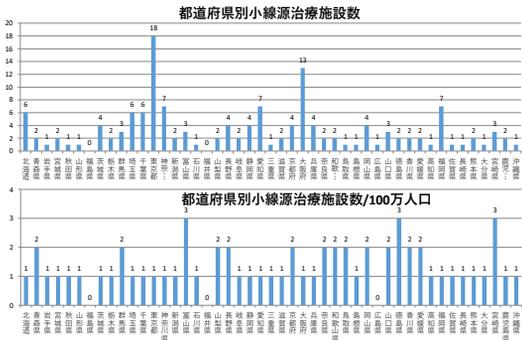
5

スケジュール

- ✓2022年4月 徳島大学病院倫理審査委員会承認
- ✓2022年6月～8月 アンケート送付・データ収集
- ✓2022年9月 データまとめ・解析
- ✓2022年10月 小線源部会幹事会で均てん化・集約化にむけた提言作成

2

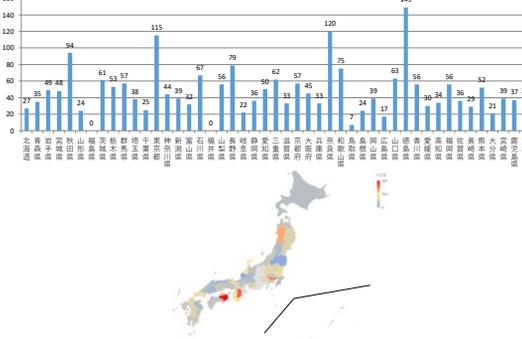
小線源治療施設数(2022/8/25時点の回答施設数)



4

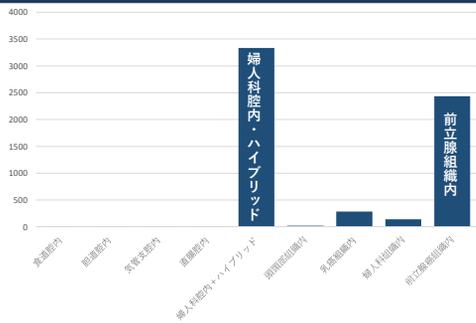
小線源治療患者数

都道府県別年間患者数/100万人口(2021年1月～12月)



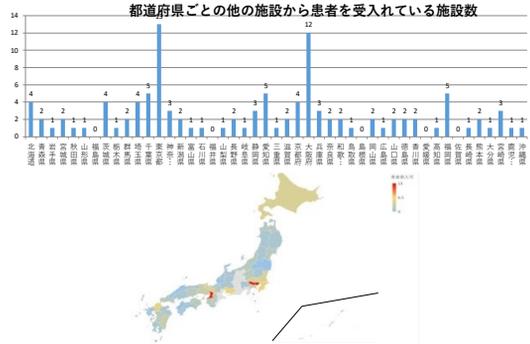
6

疾患・治療法別症例数 (2021年)



7

他の施設から患者を受け入れている施設数



8

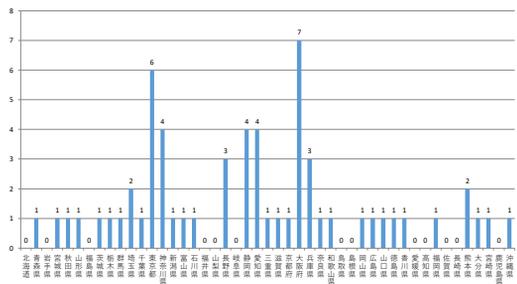
頭頸部・乳房・婦人科の組織内照射実績があり 他院から患者を受け入れている施設



9

患者待機期間のある施設数

小線源治療の患者待機期間のある施設数



10

集積データの概要 (2022/8/25時点)

- ▶小線源治療施設
 - ✓全都道府県に均等に分布 (RALS, 125-I)
 - 平均： 1.3施設/100万人口
 - 中央値： 1.2施設/100万人口
- ▶小線源治療担当放射線治療医
 - ✓全都道府県に均等に分布
 - 平均： 2.3人/100万人口
 - 中央値： 2.1人/100万人口
- ▶小線源治療実績
 - ✓婦人科腔内照射と前立腺組織内照射は全都道府県で実施
 - ✓都道府県や施設により治療患者数にばらつきあり
 - ✓組織内照射（前立腺除く）が可能で他施設からの患者受け入れが可能な施設は、北海道・中部・九州を除く都市部に存在
 - ✓東京・大阪では待機患者のある施設が多い

11

提言

1. 小線源治療は施設設置の点では均てん化されているが、治療技術と症例数は施設や地域ごとにばらつきがあり、治療技術の均てん化を図る必要がある。IGBTの全施設での実施を具体的な目標とすべきである。
2. 小線源治療患者数の少ない施設が一定数存在する。これらの施設は集約化の対象として検討されるが、患者アクセスや都道府県の人口当たりの施設数など、種々の事情を勘案しつつ、集約化を検討する必要がある。
3. 婦人科腫瘍以外の腔内照射や前立腺癌以外の組織内照射は、地域ごとに実施可能施設を設置し、施設間連携を推進することで集約化する必要がある。
4. 小線源治療教育を充実させるため、施設間連携と学会主導による教育プログラムの確立や教育機会の提供が必要である。

12